

1. 北丘小学校 算数科の授業

令和4年11月22日(火)、北丘小学校で算数科の授業を参観する機会をいただきました。授業者は1年3組担任の上江田先生です(図1)。上江田先生は、私がこれまで参観してきた小学校1年生の担任像とは良い意味で異なっており、大げさに褒めたり、ゆっくり話したりという、児童を子ども扱い、特別扱いせず、教師と児童が対等に接している姿が印象的でした。



図1 素直で一生懸命な1年3組さん

2. 算数科の授業 第1学年「ひきざん」

本時は、児童が「10といくつ」という数の見方を働かせ、 $13-9$ などの計算の仕方を説明する活動を通して、被減数を分解して計算できる(資質・能力)ことが目的です。

いろがみが13まいあります。8まいつかうと、のこりは、なんまいになりますか。

上江田先生の授業で大変参考になったのは、穏やかなながらも『発問に鋭さ』を感じたことです。「何で10がでてきたの?」、「10からひく良さって何?」などと、

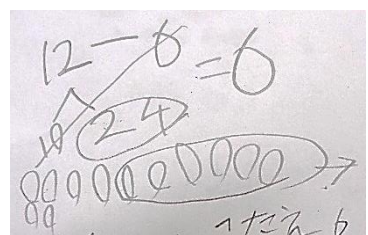
上江田先生の問題解決の対象が明確になっているからこそ、説明<発問>の授業がデザインされていると感じました。

また、①自力解決→②ペア→③全体→④個という、一連の活動の中で、すべての児童がOutputする場面設定が設定されており、児童は自身と異なる方法でも、『僕が、私が説明したい』と、脳に汗をかきながらも一生懸命説明する姿に、思わずしみじみと感動しました。

児童は最後の最後まで一生懸命なので、チャイムの時点で授業を終わった方が児童のためになったのか、ご検討よろしくをお願いします(タイムマネジメント)。



Mさんにインタビュー
「授業で何がわかった?」
10のまとまりから、
図を使ってひけば
いいことがわかった。



3. お礼

上江田先生、ステキな授業ありがとうございました。小学校1年生の授業を参観するのは初めてで、とても勉強になりましたし、こんなに一生懸命算数に励み、説明する児童を観て感動しました。Thank you(^^)／

